記者発表資料

平成２７年　５月１３日
三 春 ダ ム 管 理 所

外来魚の繁殖防止対策を実施

～　洪水調節容量確保の水位操作を階段状に低下させます　～

三春ダムでは洪水期を迎えるにあたり、洪水を貯め込む容量を確保するためダムの水位を低下させます。その際、一定期間水位を保って外来魚の産卵を促し、産卵後に水位を低下させることで、産卵した卵を干し上げ、数を減らす取り組みを実施します。

１．概要

三春ダムでは特定外来魚のうち「オオクチバス」と「ブルーギル」がダム湖内で確認されています。これらは在来魚の卵や稚魚を補食するため駆除が必要です。

洪水期に備えてダムの水位を下げる時期が「オオクチバス」の産卵期となる「水温15度を超える」時期と重なることから、平成20年度より「水位を約2m低下させる～数日その水位を維持する」を繰り返しながら水位を低下させ（階段式水位低下）、途中水位を維持する期間にオオクチバスの産卵を促した後、孵化する前に水位を下げて産卵床を干し上げることで個体増加を防止することが出来ないかという取り組みを実施しております。

本年度もその取り組みを実施することとなりましたのでお知らせいたします。

水位低下は、５月１５日より開始する予定です。
（降雨の状況により変更することがあります。）

産卵数等の調査は5月中旬から6月上旬に掛けて実施する予定です。

現地調査日程等の詳細については、別途問い合わせ願います。

〇別紙：水位操作の概要、平成26年度調査結果（参考）

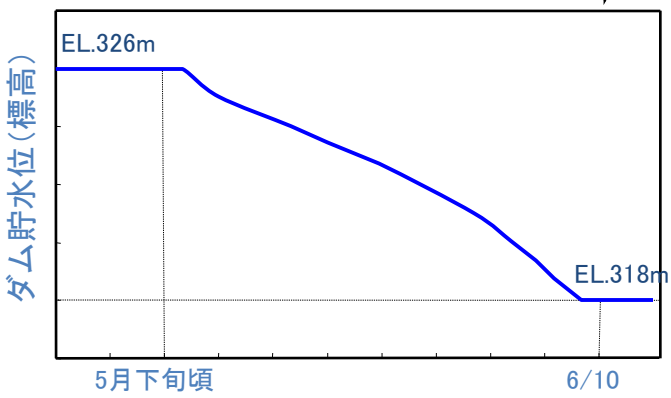
【発表記者会　郡山記者クラブ】

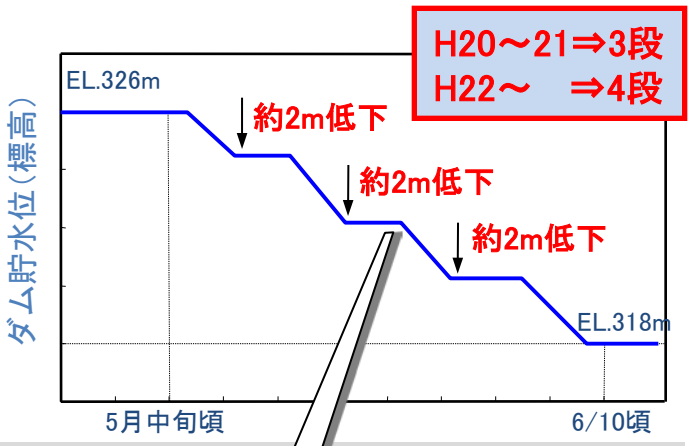
【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　三春ダム管理所
福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4
電　話　0247-62-3145
ＦＡＸ　0247-62-3170
管理所長　砂子（すなこ）　勉（つとむ）（内線２０１）
専門職　三浦（みうら）　博之（ひろゆき）（内線３３０）

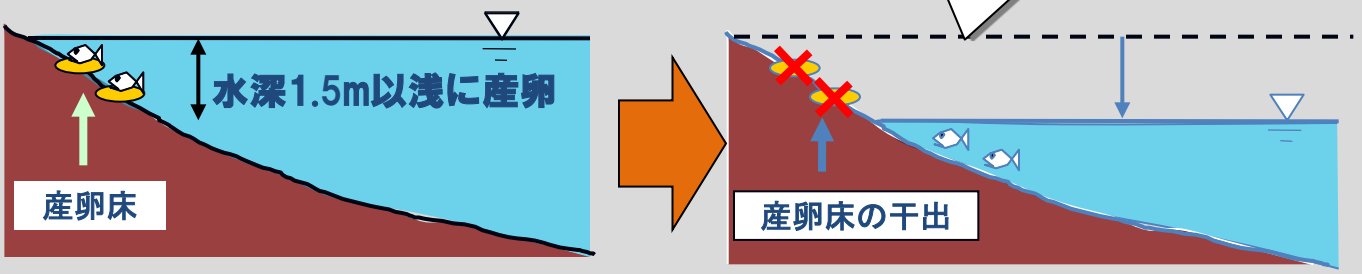
水位操作の概要

通常のダム水位操作方法
(通常の水位低下)

水位低下パターンを工夫:階段式水位低下
⇒数日程度水位を保った水位低下を繰り返し、産卵床を干出駆除。

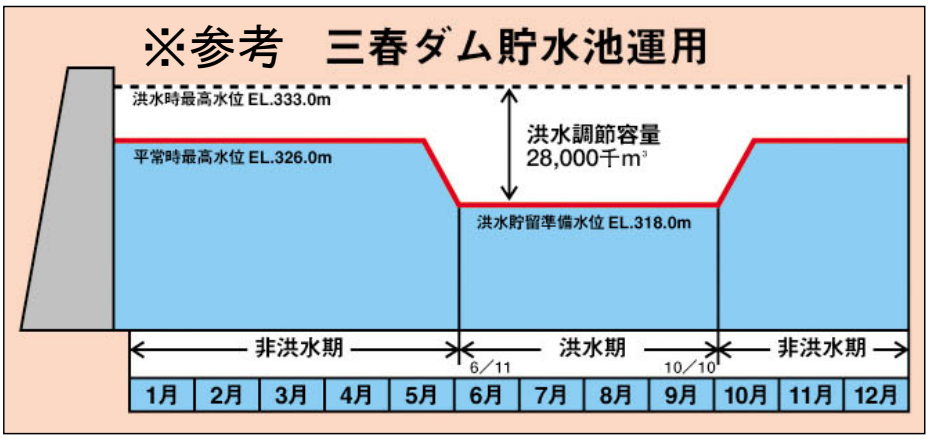






ダムの水位を低下させ、浅瀬に造られた産卵床を干出駆除

●オオクチバスの繁殖開始時期：
水温が15℃以上で産卵を開始
(→ 5月～6月頃で水位低下時期と一致)



○洪水時最高水位 :
通常、洪水調節に使用する最高の水位

○平常時最高貯水位 :
平常時ダムに貯められる最高の水位

○洪水貯留準備水位 :
梅雨や台風などによる洪水に備え、洪水調節容量を確保するため、平常時最高貯水位から梅雨前にある水位まで低下させた水位

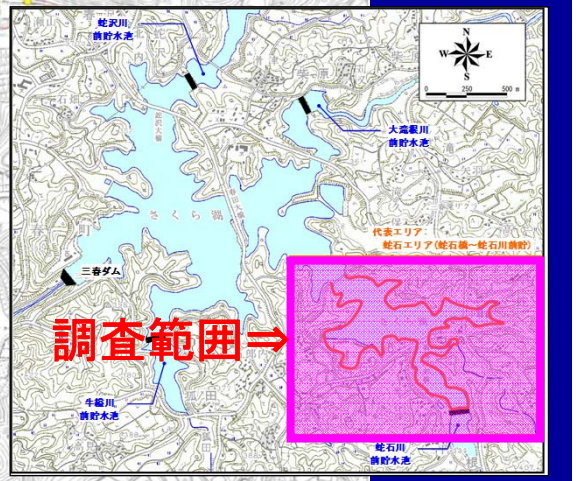
参考：平成26年度オオクチバス産卵床干し上げ結果

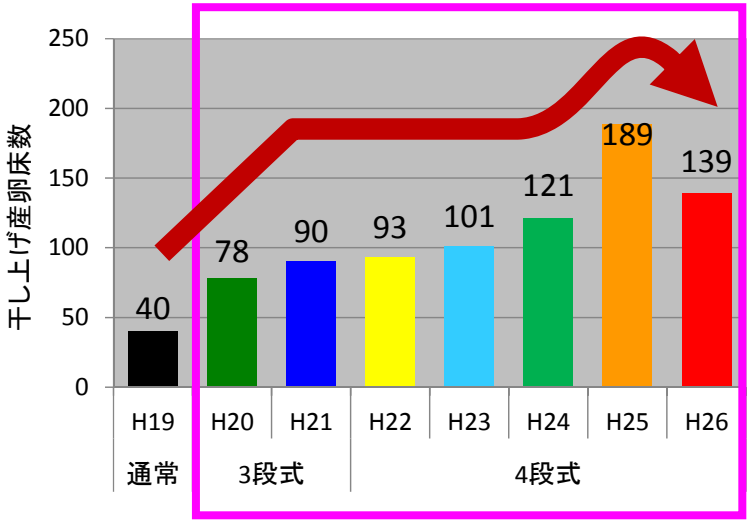
平成26年5月26日～6月9日、蛇石橋～蛇石川前貯水池周辺の湖岸を調査。
⇒干し上がった産卵床を、平成25年度より3割弱少ない139地点で確認。

干し上がった産卵床



干出したｵｵｸﾁﾊﾞｽ産卵床
- H19（ 40地点）
- H20（ 78地点）
- H21（ 90地点）
- H22（ 93地点）
- H23（101地点）
- H24（121地点）
- H25（189地点）
- H26（139地点）





■ 干し上がった産卵床の様子



拡　　大



黄色い粒が
オオクチバスの卵

H26オオクチバス産卵床干し上げ結果

